陳情・意見書

子宮頸がん検診体制の刷新とワクチン接種者全数の健康調査を

平29陳情第5号　子宮頸がん予防ワクチンの定期接種の中止と検診体制の刷新、接種者全数健康調査を国に対して強く求める意見書提出に関する陳情

▼願　意

子宮頸がん予防ワクチン接種と副反応の因果関係の証明は難しく、多くの女性が抱えきれないほどの困難に向き合い苦しんでいる。このため、ワクチンの安全性確認や接種後の症状発症の仕組みを解明し、治療体制が確立されるまで定期接種を中止とし、予防効果の高い検診体制に刷新すること、接種者の全数健康調査を行い国民が安心して接種できる情報と環境を整えることを求めることについて国に意見書を提出してほしい。

▼付託委員会

文教福祉常任委員会

▼委員会での審査状況

委員会としては、「自己の責任において、副反応のリスクを承知の上でワクチンを接種することも、権利として尊重されるべきである。しかし、実際に健康被害に苦しむ人がいることも事実であり、国は責任を持って対応すべきである。定期接種の中止という点を除けば、本陳情は大いに賛同できる。」との意見の一致を見た。

▼本会議での賛成討論

子宮頸がん検診受診率の高い欧米では、子宮頸がんによる死亡率の顕著な低下がみられるが、我が国の検診率をすぐに引き上げることは難しく、安全なワクチン接種体制の確立が必要である。

▼採決の結果

委員会　趣旨採択（賛成全員）
本会議　趣旨採択（賛成全員）

最低賃金の改定を早期に行い経済の好循環を実現せよ

平29陳情第7号　神奈川県最低賃金の改定等についての陳情

▼願　意

経済の好循環を確かなものにするため、神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うとともに、働き方改革実行計画の取り組みと連動させた中小企業・小規模事業者の支援や価格転嫁を阻害する行為への監視体制などの強化を図ることについて、国に意見書を提出してほしい。

▼付託委員会

環境都市常任委員会

▼委員会での主な意見

意見　**商業者や農業者の収入を時給換算した場合、地域別最低賃金額に及ばないと考えられ、その点を含めた改善に取り組む必要があるため、不採択とすべきである。**

意見　**地域別最低賃金が適用される非正規雇用者が増加しており、処遇改善を行う上でも賃金の引き上げは必要である。また、労働者のみならず、経営者も消費者の立場であるため、両者が発展できるこの陳情は採択すべきである。**

▼本会議での賛成討論

働き方改革実行計画は、長時間労働を容認する基準も含まれるが、陳情内容には同意できる点が多いため採択すべきである。

▼採決の結果

委員会　採　択（賛成多数）
本会議　採　択（賛成多数）

＊　＊　＊

議提議案第7号　神奈川県最低賃金の改定等に関する意見書の提出について

▼要　旨

経済の好循環実現のため、神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うとともに、働き方改革実行計画の取り組みと連動させた事業者支援や価格転嫁を阻害する行為への監視強化などを図ることについて、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議　原案可決（賛成多数）

経済の好循環のため、最低賃金の改定を

委員会提出議案第1号　子宮頸がん検診体制の刷新とワクチン接種者全数健康調査を求める意見書の提出について

▼要　旨

国が責任を持って安心・安全なワクチン接種の環境を整える必要があるため、子宮頸がん予防ワクチンの安全性確認、症状発症の仕組み解明、子宮頸がん予防効果の高い検診体制への刷新、接種者全数健康調査について、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議　原案可決（賛成全員）

安心・安全なワクチン接種環境の整備を

教育を取り巻く環境のさらなる充実を

平29陳情第4号　子供たちに豊かな学びを保障するために、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情

▼願　意

子どもや保護者のニーズに応じたきめ細やかな教育を実現し、豊かな教育環境を整備するため、少人数学級の実現、学級規模の弾力化、教育予算の増額などについて、国に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果

本会議　採　択（賛成全員）

＊　＊　＊

議提議案第5号　少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について

▼要　旨

教育を取り巻く環境のさらなる充実を図るため、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充について、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議　原案可決（賛成全員）

きめ細やかな教育の実現を

「組織犯罪処罰法改正案」（共謀罪）に反対の意見書を国に提出するよう求める陳情は、不採択

平29陳情第8号　「組織犯罪処罰法改正案」（共謀罪）に反対の意見書を国に提出するよう求める陳情

▼願　意

人権を狭め、市民の思想や内心の捜査を正当化し、表現の萎縮をもたらすと考えられる「組織犯罪処罰法改正案」を成立させることに反対する意見書を国に提出してほしい。

▼付託委員会

総務常任委員会

▼本会議での反対討論

日本は国際組織犯罪防止条約に未加盟で、国際的協力関係を結ぶための法整備が必要となる。国民の内心の自由は処罰されないため、不採択とすべきである。

▼本会議での賛成討論

共謀罪がもたらす人権侵害、監視社会への危険が払しょくできず、また、幾分かリスクが多くても、より自由な社会を次の世代に残すべきであり、採択すべきである。

▼採決の結果

委員会　不採択（賛成少数）
本会議　不採択（賛成少数）

地域の実態を踏まえた最低賃金制度の導入を

平29陳情第3号　神奈川県の最低賃金に関する陳情

▼願　意

神奈川県内同一賃金額である最低賃金制度を、各事業者の経営実態を踏まえたきめ細やかな制度とし、地域間における不均衡の是正を図るよう、国や県に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果

本会議　採　択（賛成全員）

＊　＊　＊

議提議案第6号　神奈川県最低賃金に関する意見書の提出について

▼要　旨

最低賃金制度を地域や小売業などの実態を踏まえたきめ細やかな制度とし、地域間や業種別による不均衡の是正を図ることについて、国や県に意見書を提出するもの。

▼採決の結果

本会議　原案可決（賛成全員）

開催しました　諏訪市・秦野市　姉妹都市議会議員交歓研修会

7月18日（火）、19日（水）に、姉妹都市の長野県諏訪市と研修会を開催しました。

18日は、「秦野名水の保全と利活用」、「地域包括ケアシステム構築に向けての取り組み」について研修をし、19日は、表丹沢野外活動センターとJAはだの「じばさんず」を視察しました。

議員有志による議場の多目的利用「映画上映と未来対話」を開催しました

市民に開かれた議会を実現するため、有志の議員による議場の多目的利用が可能となりました。

その第１弾として、7月29日（土）に議場で映画『商店街な人』の鑑賞と、同映画を製作したNPO法人ワップフィルムのサポートにより、街の未来を語り合う「未来対話」を行いました。

グループに分かれ議論する参加者たち

配付に留めた陳情

平29陳情第６号	ほうらい会館等の公共施設の使用料を値上げしないことを求める陳情
平29陳情第９号	公民館の使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第10号	図書館の視聴覚室は図書館機能と一体のもので会議室化しないこと及び有料化しないことを求める陳情
平29陳情第11号	文化会館の使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第12号	宮永岳彦記念美術館市民ギャラリーの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第13号	表丹沢野外活動センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第14号	サンライフ鶴巻の使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第15号	保健福祉センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第16号	広畑ふれあいプラザの使用料を現行どおり無料とすることを求める陳情
平29陳情第17号	末広ふれあいセンターの使用料を現行どおり無料とすることを求める陳情
平29陳情第18号	曲松児童センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第19号	中野健康センターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第20号	里山ふれあいセンターの使用料を現行どおり維持することを求める陳情
平29陳情第21号	有料公園施設の使用料を現行どおり維持することを求める陳情